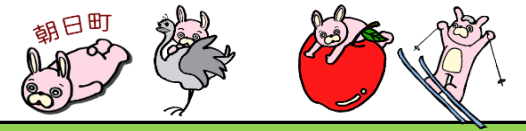


朝日町企業版ふるさと納税 寄附対象事業

※朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略に該当する事業から主なものを抜粋して記載。



基本目標1 若者たちの地元定着と交流・移住の促進を図る

1 『「しごと」の魅力の発信』、『新たな「しごと」の創出』ができる町を目指す。



令和6年度予算額
34,708千円

事業名	事業概要
企業立地対策事業	町内企業の設備投資に対し補助を行うことで、町に根差した産業の発展に努める。
商工振興行政費 (商店街魅力創出チャレンジ事業他)	町内商工業の振興や商店街の魅力創出に向けた活動を支援することで、商工業・商店街の活性化を図る。 新規学卒者へ奨励金を交付する他、中高生へ企業ガイドを配布し、町内への就労を促進する。
商工振興行政費 (商店街魅力創出チャレンジ事業他)	創業に係る初期費用の負担を支援し、やりたい仕事を始められる環境を整え、新たに起業・創業する方へ支援を行うことで地域産業の活性化を図る。
もうかる農業経営振興費 (高品質なりんごづくり・りんご海外輸出)	朝日町ブランドの代表である高品質なりんごづくりを支援し、農業者の所得向上を目指すほか、りんごの海外輸出を推進し国際的なブランド化を目指す。
農業担い手育成支援事業 (担い手育成)	新規就農者や定年帰農農業者への補助を行い、安心して農業を続けていける人づくりを進め、多様な果樹をはじめとした農業の振興を図る。
農業担い手育成支援事業 (スマート農業、チャレンジ応援事業)	ＩＣＴの導入等で農作業の省力化を図るとともに、新たな分野に取り組む農業者の挑戦を応援し、農業の振興を図る。

2 若者たちが住み続けることのできる「まち」を創生する。



令和6年度予算額
431,482千円

事業名	事業概要
定住・UIターン対策（朝日町若者移住・定住支援事業など）	若者の地元回帰や地元就職を促進するため、移住体験の実施を行う他、町内への引っ越し費用の補助や、町内に定住し就職された方へ3年間10万円の商品券を交付する事業を展開する。
持家住宅支援事業	町民ニーズに対応する住環境を実現するため、各住宅の新築・リフォームに対して補助を行う。
空家バンク運営事業	全国に先駆けて開始した空家バンクの運営の他、空家の改修補助等を実施し、町内にある空家の有効活用を図ることで若者の移住・定住につなげる。
空家等解体補助事業	空家の解体を補助することで空家の管理不全による被害を未然に防ぎ、きれいな街並み・景観の維持を図る。
朝日町交通網の充実（デマンドタクシー運行、山形・寒河江直行バス運行）	町民の足としてデマンドタクシーを運行する他、通学・通勤の足として山形市や寒河江市までの直行バスを運行し、住民生活の利便性の向上を図る。
Newアクション事業	地域貢献やまちづくりにつながるイベントの開催等、町民の新たなチャレンジを応援する事業。
エコミュージアムコアセンター創遊館大規模改修事業	町の生涯学習、文化振興の拠点である創遊館の大規模改修事業。 施設躯体やホールの舞台装置について改修を行い、若者の集う拠点の長寿命化を図る。
役場庁舎・開発センター大規模改修事業	整備後50年が経過する役場庁舎・開発センターについて、建物の長寿命化工事のほか、空調、電気等設備面を中心とした省エネ改修などを実施し、町政の要である庁舎で先進的にゼロカーボンシティの実現に向けた試みを進めていく。令和4年度に実施設計、令和5・6年で工事を実施する。

朝日町企業版ふるさと納税 寄附対象事業

※朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略に該当する事業から主なものを抜粋して記載。



3 町の未来を信じ、自ら活動する「ひと」を増やす。

4

質の高い教育を
みんなに

6

安全な水とトイレ
を世界中に

8

働きがいも
経済成長も

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう

12

つくる責任
つかう責任

14

海の豊かさを
守ろう

15

陸の豊かさも
守ろう

令和6年度予算額
243,432千円

事業名	事業概要
エコミュージアム推進費	エコミュージアムを活かした若者及び大人に対するふるさと教育の充実を図る。
世界にただ1つ「空気」を祭る神社から未来を照らすプロジェクト	森林保全のために必要な林道を適切に維持・整備するとともに病虫害対策、枯損木伐倒への補助などを実施するとともに空気まつりや空気神社のライトアップを開催し空気への感謝とその大切さを発信
「星空の街、あおぞらの街全国大会」開催事業・関連事業	パンフレット記載
コミュニティスクールの実施	学校運営の改善や児童生徒の健全育成に向け、学校と地域が連携、協働して学校運営に取り組む学校運営協議会制度（コミュニティスクール）を設置し、小中学校で地域の素材を活用した「探究型学習」を実施する。
小中学校学習生活指導員・読書活動推進員設置事業	児童生徒の習熟状況に応じたきめ細やかな指導を行う事業。 複式学級の補助や、特別支援学級などの特に支援が必要となる児童生徒の指導支援を行うほか、読書に触れる機会を作り子どもたちの豊かな感性を育む。
GIGAスクール構想（ICT教育）の推進	多様な学習形態による児童生徒の情報活用能力上達を目的として、各小中学校にICT支援員を派遣するとともに、児童・生徒の学習意欲や理解力の向上に資する電子黒板を整備する。
小中学生修学旅行外国語研修、英語・数学学習会の開催	小学生の修学旅行では福島県にあるブリティッシュヒルズを訪問し、英語のみを使って生活する非日常を体験するほか、中学生を町独自にアメリカ合衆国コロラド州ヴィンザー市へ派遣し、ホームステイを行う等の取り組みを実施。
インバウンド推進事業	拡大するインバウンド市場への対応として、台湾出身の地域おこし協力隊員を配置するとともに、総合的な誘客・情報発信の委託、旅行者への交通費に対する補助等を実施する。外国人観光客の取り込みによる交流人口の増加と経済の活性化を図る
各種まつりの開催	朝日町の名産品や特色を生かした各種まつり（溪流まつり、ワインまつり、産業まつり）を開催し、集客交流を促進する。
りんご温泉振興事業	町民の憩いの場、健康づくりの拠点として施設の管理を行うとともに、町観光の1つとして振興を図る。
朝日自然観観光振興費	豊かな自然や地域の資源を生かし、交流による町おこしを図ることを目的に整備した「朝日自然観」の運営により四季（春：新緑と山菜料理、夏：避暑、バーベキュー、秋：紅葉、冬：スキー）を感じてもらうことにより町観光の振興を図る。 また、今年度は朝日自然観コテージ村の再整備を進めており、コテージ村エリア全体の高付加価値化と利便性の向上を図るとともに、コテージ村を観光交流の拠点施設と位置づけ、町全体が活性化していくことを目指しています。
総合交流拠点施設（道の駅あさひまち）事業費	町の観光の拠点として整備した道の駅あさひまち（りんごの森）を運営することで、町内観光施設の核として町内への誘客を促し、観光交流による経済の活性化を図る。
観光協会運営事業	町の観光情報を町内外に発信する観光協会の運営により、りんごキャンペーン等のイベントを実施する他、町内の観光ツアー新設などに取り組む。

朝日町企業版ふるさと納税 寄附対象事業

※朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略に該当する事業から主なものを抜粋して記載。



基本目標2 結婚に対する意識を醸成し、出産・子育てのしやすい環境を整える				
1 結婚・出産・子育てと「しごと」との両立を図る。			   	令和6年度予算額 264,654千円
事業名	事業概要			
子育て総合支援事業	新生児へ出産祝い品を贈呈するほか、ブックスタート事業を通じ健やかな子どもの育成を支援する事業。令和4年度から未満児家庭保育応援事業に取り組み、3歳未満児を家庭で保育する場合、月1万円の応援金を給付する。			
あさひ保育園等運営事業	あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブを運営し、魅力ある職場で保育に対する意欲や質の向上を図るとともに、柔軟な職員配置による未満児保育の拡充など、ニーズに沿ったより良い保育サービスを提供する。 あわせて、3歳未満の保育料の半額化（国基準第3及び第4階層の所得世帯の場合は無償化）と給食費の完全無償化を実施し、保育の充実を図る。			
2 結婚に向けた「ひと」との出会いを創出するとともに、出産・子育てに携わる「ひと」の不安・負担を軽減する。			    	令和6年度予算額 40,652千円
事業名	事業概要			
結婚応援事業	結婚を望みながらも出会いのない方を対象にした婚活イベントの開催や、町が任命するボランティア仲人（結婚応援団）が中心となって行う結婚相談を通じて、町民の出会いを支援する。また、山形県と連携し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト（新居の家賃・引越費用等）への支援を実施するほか、町独自に結婚する方へ10万円分の商品券を配布する「あさひ新婚さんエール事業」を行い、新たな夫婦の門出を応援する。			
子育て支援医療給付事業 （高校生以下医療費無償化事業）	子育て世帯の負担軽減のため、高校生までの医療費を無償化し、健やかな子どもの育成を支援する。			
乳幼児等予防接種事業	感染症の発生や蔓延を防止し、乳幼児、学童、生徒などの健康保持のための定期予防接種や、子宮頸がんワクチンや風しん等の予防接種を実施する。			
妊婦健康診査・産後ケア事業	妊婦健康診査等に対する助成を行うことで妊婦の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産める環境を作る。また産後ケア事業により、出産や育児への不安を軽減し、安心した子育てできる環境を整備する。			
母子保健コーディネーター設置事業	妊娠期から子育て期の支援を今まで以上に切れ目ないものにするために、妊娠中、出産後、育児中の様々な相談に応じる母子保健コーディネーターを設置する。			
3 子育てをしやすい「まち」を創生する。			 	令和6年度予算額 15,606千円
事業名	事業概要			
【再掲】空家バンク運営事業	全国に先駆けて開始した空家バンクの運営の他、空家の改修補助等を実施し、町内にある空家の有効活用を図ることで若者の移住・定住につなげる。			
【再掲】コミュニティスクールの実施	学校運営の改善や児童生徒の健全育成に向け、学校と地域が連携、協働して学校運営に取り組む学校運営協議会制度（コミュニティスクール）を設置し、小中学校で地域の素材を活用した「探究型学習」を実施する。			
公園整備事業	緑が丘公園をはじめとした町内の公園の維持管理を行い子ども達の遊び場の確保を行う。また、令和3年度に大規模リニューアルを実施した緑が丘公園の案内看板を整備し、町内外の方が訪れやすい環境を整える。			

朝日町企業版ふるさと納税 寄附対象事業

※朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略に該当する事業から主なものを抜粋して記載。



基本目標3 高齢者や障がい者がいきいきと住み続けることのできる環境を整える					
1 高齢者や障がい者が生きがいを持って取り組める「しごと」を創生する。				    	令和6年度予算額 19,072千円
事業名	事業概要				
シルバー人材センターへの運営支援	高齢者等が生きがいを持ち、安心して生活できるようにするため、自分の能力を活用し働くことのできる場として、シルバー人材センターの運営を支援する、				
高齢者生産活動支援	高齢者の生きがいと健康づくりの拠点施設である「高齢者生産活動センター」の運営を円滑に行う事業。				
【再掲】農業担い手育成支援事業 (担い手育成)	新規就農者や定年帰農農業者への補助を行い、安定して農業を続けていける人づくりを進め、多様な果樹をはじめとした農業の振興を図る。				
2 いつまでも健康で元気な「ひと」を創生する。				  	令和6年度予算額 73,981千円
事業名	事業概要				
まちづくり提携事業	株式会社ミズノと連携し、歩行時の身体測定判定機「Motion DNA」を取り入れ、歩行能力と、世界初の技術となる「歩き方のタイプ」を判定、その方に適した運動方法等を提供するなどにより「歩くことによる健康日本一」を目指す。				
健康診断推進事業	町民を対象に健康診断（がん検診、特定健診）を公費負担で実施し、病気を早期に発見する事で、町民の健康を保つ。				
予防接種事業	予防接種（おたふく風邪、インフルエンザ、風疹）を実施し、町民の健康の保持増進を図る。				
元気クラブ・長寿クラブ事業	各地区での元気づくり、生きがいづくりのために実施している活動（健康教室、創作活動など）を支援する事業。				
高齢者・障がい者の居場所づくり、生きがいづくり事業	社会福祉協議会が中心となり高齢者や障がい者へ総合的なサービスを行うほか、福祉バスの運行や長寿クラブ活動への支援を行い、高齢者・障がい者の居場所づくり・生きがいづくりを応援する事業。				
健康づくり応援事業（入浴施設利用補助）	町民を対象に入浴施設の利用料補助を行い、温泉を通じた心身のリフレッシュと健康づくりを図る。				
健康交流施設「すぽっと」の運営事業	高齢者を中心とした多世代が集まる交流の場として整備した「みんなの居場所すぽっと」の運営により、誰もが気軽に寄り合い、ふれあいを通して生きがいや仲間づくりの輪を広げる活動を進める。				
3 高齢者や障がい者がいつまでもいきいきと住み続けることのできる「まち」を創生する。				  	令和6年度予算額 408,919千円
事業名	事業概要				
地域活躍応援事業	持続する地域活動を応援するため、各区独自の活動（花いっぱい運動、区道整備事業など）を支援し、地域の活力向上を図る。				
雪対策支援事業	地域住民の共助による雪はき・雪下ろしに対して支援を行う（各区ごとに選定する要支援世帯の雪下ろし、除雪について年間を通じて区で実施する）。また、協働活動が難しい区の要支援世帯については、各世帯が雪下ろし・除雪を事業者に委託した経費について補助を行う。				
【再掲】持家住宅支援事業	町民ニーズに対応する住環境を実現するため、各住宅の新築・リフォームに対して補助を行う。 (克雪住宅の整備や、子育て世帯など世帯要件を満たす場合には上乗せあり)				
【再掲】朝日町交通網の充実（デマンドタクシー運行、山形・寒河江直行バス運行）	町民の足としてデマンドタクシーを運行する他、通学・通勤の足として山形市や寒河江市までの直行バスを運行し、住民生活の利便性の向上を図る。				
朝日町立病院運営補助	町唯一の入院機関をもつ医療機関である町立病院の運営を補助し、町医療のよりどころとしての機能を維持する。				